

業務連絡

2022年10月25日 No. 3
JR東海労新幹線関西地本
業務部

2022年10月21日、支社会議室において「申」第4号及び第5号について、組合側幹事と会社側幹事による業務委員会開催に向けた事前の打ち合わせを行いました。

組合側幹事は、付議事項等に於ける「事故防止に関する事項」であり業務委員会の開催を強く求めましたが、会社はこれを拒否しました。以下は、会社回答です。

「申」第4号「直前横断防止について」の緊急申し入れ（2022年9月14日）

もはや、個人に対する安全啓発だけでは安全は守れない！！ 会社は、直前横断防止に対する抜本的な対策を考えるべきである。

1, 9月2日に発生した直前横断について詳細を明らかにすること。

【会社回答】

仕業庫0番線へ入庫中の車両が洗浄装置よりも内方に来ている状況で、SEK社員が仕業庫0番線西方通路を線路横断した。

2, 今後、会社は「直前横断防止」についてどのような対策を検討しているのか、明らかにすること。

【会社回答】

線路横断時の一旦停止、左右指差確認喚呼という基本動作の徹底に向けた指導をしつつ、引き続き命を守るルールの教育等を実施していく。今後も直前横断防止対策は、不断に検討する。

3, 個人に対する安全啓発だけでなく、遮断機や信号、警報音などハード面についても設置すること。

【会社回答】

鳥飼基地構内へのフラッシュライト設置など必要なハード対策は適宜実施している。引き続き直前横断防止対策は、不断に検討している。

以上

「申」第5号「夜間前面洗い中止について」の申し入れ（2022年9月14日）

夜間前面洗い中止の原因は、新型コロナウイルス感染症の拡大が原因であった！！

1, 夜間前面洗い中止の理由を明らかにすること。

【会社回答】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、一時的に体制を見直したためである。

2, JR東海と関西新幹線サービックとどのような契約となっているのか明らかにすること。

【会社回答】

会社間の契約であり、契約内容を明らかにする考えはない。

3, 前面洗い中止により、乗務員の視界不良になる危険性について会社はどのように考えているのか明らかにすること。

【会社回答】

前頭部洗い中止期間中の、前頭部洗いが必要と認められた編成については個別に洗いを実施していたので、視界不良にはなっていない。

4, 汚れた車両を出すことのお客様へのサービス低下について会社はどのように考えているのか明らかにすること。

【会社回答】

前頭部洗い中止期間中の、前頭部洗いが必要と認められた編成については個別に洗いを実施していたので、サービス低下は起きていない。

5, 今後も前面洗い中止になることがあるのか明らかにすること。

【会社回答】

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、適切に判断する。

6, 理由が要員不足というのならば、希望する専任社員の65歳以降も継続し従事できるようにすること。

【会社回答】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、見直したものである。尚、必要な要員確保については新規採用等に努めていると聞いている。

以上